

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和6年度 工業専門課程 (建築・デザイン学科)

科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
建築学	建築計画の知識	1	前期	○			建築計画ⅠA	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	60	4	○		
		1	後期	○			建築計画ⅠB	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	30	2	○		
		2	前期	○			建築計画ⅡA	公共機関のうち教育施設(幼稚園、小中学校等)や外部空間、自然環境と建築の関係等を学ぶ	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(計画 2級)	2級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	1		○	
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(計画 1級)	1級建築士の学科試験Ⅰ(計画)対策	30	1		○	
	建築環境設備の知識	2	前期	○			建築環境工学ⅡA	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習し、知識の習得を行う	30	2	○		
		2	前期	○			建築設備ⅡA	建築現場において使用される設備機器について基本的な内容を学ぶ	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(環境設備 1級)	1級建築士の学科試験Ⅱ(環境設備)対策	60	2		○	
	建築法規の知識	1	前期	○			建築法規ⅠA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		1	後期	○			建築法規ⅠB	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		2	前期	○			建築法規ⅡA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(法規 2級)	2級建築士の学科試験Ⅱ(法規)対策	30	1		○	
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(法規 1級)	1級建築士の学科試験Ⅲ(法規)対策	60	2		○	
	建築構造の知識	1	前期	○			建築構造力学ⅠA	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○		
		1	後期	○			建築構造力学ⅠB	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○		
		1	前期	○			建築一般構造ⅠA	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○		
		1	後期	○			建築一般構造ⅠB	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○		
		1	前期	○			建築材料ⅠA	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	○		
		1	後期	○			建築材料ⅠB	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料(鋼材)の性質について学ぶ	30	2	○		
		2	前期	○			建築構造力学ⅡA	「静定構造物の応力の求め方」「トラス構造の解析方法」について学ぶ	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(構造 2級)	2級建築士の学科試験Ⅲ(構造)対策	30	1		○	
	建築施工の知識	2	後期		○		建築士対策ⅡA(構造 1級)	1級建築士の学科試験Ⅳ(構造)対策	60	2		○	
		1	前期	○			建築施工ⅠA	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○		
		1	後期	○			建築施工ⅠB	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○		
		2	前期	○			建築施工ⅡA	建築施工計画についての概要を理解し、建築施工を構成する各工種についてその内容を理解する	30	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(施工 2級)	2級建築士の学科試験Ⅳ(施工)対策	30	1		○	
	建築設計製図の知識	2	後期		○		建築士対策ⅡA(施工 1級)	1級建築士の学科試験Ⅴ(施工)対策	30	1		○	
		1	前期	○			建築設計製図ⅠA	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、木造建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。	60	2	○		
		1	後期	○			建築設計製図ⅠB	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2	○		
		2	前期	○			建築設計製図ⅡA	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2	○		
		2	後期		○		建築士対策ⅡA(製図 2級)	2級建築士の製図課題レベルのエスキース・製図能力の習得	60	2		○	
	プレゼンテーション力の習得	2	後期		○		建築士対策ⅡA(製図 1級)	1級建築士の製図課題レベルのエスキース・製図能力の習得	60	2		○	
		1	前期	○			Photoshop・illustratorⅠA	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
	CADの知識習得	1	後期	○			Photoshop・illustratorⅠB	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○	
		1	前期	○			JWCADⅠA	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2	○		
	建築学専攻科目	デッサン力の習得	1	後期	○		JWCADⅠB	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2	○		
			1	前期	○		建築図学ⅠA	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
	卒業成果の	卒業成果の	1	後期	○		建築図学ⅠB	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
			2	前期	○		専攻ゼミⅡA	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○	

専門		プレゼンテーション	2	後期			○	専攻ゼミⅡB(卒業研究)	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○
	建築CAD専攻科目	3DCADの習得	1	前期			○	3DCAD I A	建築設計や建築生産に必要な三次元図面の制作技術を通して、多角的な設計技術などを学ぶ	30	1		○
			1	後期			○	BIM I A	BIMについての理解と関係ソフトの基礎的知識及び操作技術の向上を図る	30	1		○
		卒業成果のプレゼンテーション	2	前期			○	BIM II A	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○
			2	後期			○	BIM II B(卒業研究)	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○
	空間情報専攻			1	前期		○	測量に関する法規・国際条約 I A	「測量法」「測量法施行令」「測量法施行規則」に関する知識、基本測量、公共測量、基本測量及び公共測量以外の測量について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	測量に関する数学 I A	関数とグラフ、指数と対数、三角関数、ベクトル、微分法、積分法、行列について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	測量学概論 I A	測量・地図発達の歴史、わが国の測量体系、測量の基準、楕円体測地学の基礎、地球の物理と測量及び最新の測量技術を学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	三角測量 I A	測定器械、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角、距離の測定、平面直角座標計算、測量の成果について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	水準測量 I A	水準測量の概要および作業計画・準備、測定機器、観測、誤差、計算と成果表等の整理、作業管理について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	地形測量 I A	一般理論、細部図根点測量、細部測量、測量原図の調整、数値地形測量等について学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	地図編集 I A	地図の分類、地図投影法、地形図読図、基図、編集における取捨選択、総描、転位、GISの概念等について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	測量に関する情報処理 I A	コンピュータシステム、ソフトウェア・ハードウェアの基礎、測量計算・地図情報処理などコンピュータによる解析作業を学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	多角測量 I A	測定器械(トータルステーション及び汎地球測位航法衛星システム(GNSS)を含む)、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角・天文方位角の観測、距離の測定、平面直角座標計算、三角・多角網平均計算(観測方程式法を含む)、測量の成果表について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	汎地球測位システム測量 I A	衛星測位システム(GNSS)の概念、GNSS測量の観測方式、観測法と解析方法について修得する。	30	2		○
				1	後期		○	写真測量 I A	一般理論、航空カメラ、図化機、標定点測量、空中写真測量、リモートセンシング、数値図化等について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	応用測量 I A	路線測量計画概論、中心線測量、曲線設置、現況測量、用地測量、縦横断測量、工事測量土量計算、河川測量計画概論、距離標の測量、河川縦横断測量、深淺測量、汀線測量、流速流量の測定等について学ぶ	30	2		○
				1	後期		○	地理情報システム I A	インターネット活用手段、属性データ作成のエクセル利用、GISソフトの操作方法とおよび利用する地図データについて投影法や座標系を理解させる。総合演習でGISソフトを使いこなす技術を修得する	30	2		○
				1	前期		○	土木一般 I A	施工計画のための調査と環境アセスメント、設計と積算、施工と施工管理、品質管理、資材管理、労務管理など、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2		○
				1	前期		○	専門土木 I A	安全管理、工程管理、土工機械、掘削施工、運搬施工、盛土と締固め、基礎工、擁壁、トンネル、を内容とする講義により、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2		○
				1	前期		○	土木施工法規 I A	建設業に関する「労働基準法」「労働安全衛生法」「建設業法」を軸に、土木施工管理技士に関する土木法規を学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	共通工学 I A	契約・設計・電気・測量についての基礎的知識を学ぶ	30	2		○
				1	前期		○	施工管理法 I A	工程管理」「安全管理」「品質管理」「原価管理」などの各種工事と材料、構造等を通して「施工管理」のポイントを学ぶ	30	2		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(法規・国際条約)	測量士試験に向けて法規・国際条約についての対策を行う	30	1		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(多角測量)	測量士試験に向けて多角測量についての対策を行う	30	1		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(GNSS測量)	測量士試験に向けてGNSS測量についての対策を行う	30	1		○
				2	前期		○	測量士試験対策ⅡA(水準測量)	測量士試験に向けて水準測量についての対策を行う	30	1		○
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(地形測量)	測量士試験に向けて地形測量についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(写真測量)	測量士試験に向けて写真測量についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(地図編集)	測量士試験に向けて地図編集についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(応用測量)	測量士試験に向けて応用測量についての対策を行う	30	1		○	
2				前期		○	測量士試験対策ⅡA(地理情報システム)	測量士試験に向けて地理情報システムについての対策を行う	30	1		○	
2				後期		○	測量士試験対策ⅡA(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○	
2				後期		○	測量士試験対策ⅡB(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○	
2				前期		○	卒業制作ⅡA	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○	
2				後期		○	卒業制作ⅡB	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○	
1				前期		○	AutoCAD I A	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○	
1	後期		○	AutoCAD I B	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○				
1	後期		○	土木施工対策ⅠA(土木工学等)	土木施工管理技士試験に向けて土木工学等の対策を行う	30	1		○				
1	後期		○	土木施工対策ⅠA(施工管理法)	測量士試験に向けて施工管理法についての対策を行う	30	1		○				
1	後期		○	土木施工対策ⅠA(法規)	測量士試験に向けて土木法規についての対策を行う	30	1		○				
	実務研修による現場能力の習得		1	後期		○	インターンシップ I A	机上で学んだことを現場で実践する	45	1		○	
		測量士の知識		1	前期		○	測量士 I A	測量士補試験を学習する	60	2		○
				1	後期		○	測量士 I B	測量士補試験を学習する	60	2		○

3 専攻共通	測量士補	2	前期		○	測量士ⅡA	測量士補試験を学習する	60	2		○	
		2	後期		○	測量士ⅡB	測量士補試験を学習する	60	2		○	
	地域連携による 課題解決力習得		1	前期		○	課題解決学習ⅠA	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○
			1	後期		○	課題解決学習ⅠB	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○
			2	前期		○	課題解決学習ⅡA	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○
			2	後期		○	課題解決学習ⅡB	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○
	一般	3 専攻共通	1	前期		○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○
			1	前期		○	就職支援ⅠA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
			1	後期		○	就職支援ⅠB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
			2	前期		○	就職支援ⅡA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○
2			後期		○	就職支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
1			前期		○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
1			後期		○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
2			前期		○	課題解決チャレンジⅡA	企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1		○	
2			後期		○	課題解決チャレンジⅡB	企業が提示する課題に学生がチャレンジする(学科混合グループ編成)	30	1		○	
合計							98 科目	3705 単位時間		160 単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1700単位取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること		1 学年の学期区分	2 期
選択必修科目： 【建築士専攻】「建築計画ⅠA」「建築計画ⅠB」「建築計画ⅡA」「建築環境工学ⅡA」「建築設備ⅡA」「建築法規ⅠA」「建築法規ⅠB」「建築法規ⅡA」「建築構造力学ⅠA」「建築構造力学ⅠB」「建築一般構造ⅠA」「建築一般構造ⅠB」「建築材料ⅠA」「建築材料ⅠB」「建築構造力学ⅡA」「建築施工ⅠA」「建築施工ⅠB」「建築設計製図ⅠA」「建築設計製図ⅠB」「建築設計製図ⅡA」 【建築CAD専攻】「建築計画ⅠA」「建築計画ⅠB」「建築計画ⅡA」「建築環境工学ⅡA」「建築設備ⅡA」「建築法規ⅠA」「建築法規ⅠB」「建築法規ⅡA」「建築構造力学ⅠA」「建築構造力学ⅠB」「建築一般構造ⅠA」「建築一般構造ⅠB」「建築材料ⅠA」「建築材料ⅠB」「建築構造力学ⅡA」「建築施工ⅠA」「建築施工ⅠB」「建築設計製図ⅠA」「建築設計製図ⅠB」「建築設計製図ⅡA」 【空間情報専攻】 「測量に関する法規・国際条約ⅠA」「測量に関する数学ⅠA」「測量学概論ⅠA」「三角測量ⅠA」「水準測量ⅠA」「地形測量ⅠA」「地図編集ⅠA」「測量に関する情報処理ⅠA」「写真測量ⅠA」「応用測量ⅠA」「地理情報システムⅠA」「土木一般ⅠA」「専門土木ⅠA」「土木施工法規ⅠA」「共通工学ⅠA」「施工管理法ⅠA」「測量士試験対策ⅡA(法規・国際条約)」「測量士試験対策ⅡA(多角測量)」「測量士試験対策ⅡA(GNSS測量)」「測量士試験対策ⅡA(水準測量)」「測量士試験対策ⅡA(地形測量)」「測量士試験対策ⅡA(写真測量)」「測量士試験対策ⅡA(地図編集)」「測量士試験対策ⅡA(応用測量)」「測量士試験対策ⅡA(地理情報システム)」「測量士試験対策ⅡA(総合)」「測量士試験対策ⅡB(総合)」「土木施工対策ⅠA(土木工学等)」「土木施工対策ⅠA(施工管理法)」「土木施工対策ⅠA(法規)」		1 学期の授業期間	15 週

科目名	建築計画ⅠA						学期	前	期
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	4
学習目的	二級建築士建築計画の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築計画を学ぶ。特に計画原論(環境工学)、建築設備、計画各論(一部)。								
学習目標	二級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 計画テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1-1 気候・空気	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
2		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	1-2 熱	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
4		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	1-3 光	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
6		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	1-4 音	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
8		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	1-5 色彩 1-6 計画原論 用語・単位	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
10		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
12		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	2-1 空調機械設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
14		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	2-2 給水設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
16		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
17	2-3 排水・衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
18		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
19	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
20		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
21	2-4 電気・照明設備①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
22		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
23	2-4 電気・照明設備②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
24		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
25	2-5 消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
26		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
27	2-6 環境・省エネルギー 2-7 建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
28		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
29	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
30		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規ⅠA						学期	前	期
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築法規の範囲を学び、建築法規の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築法規を学ぶ。特に建築基準法等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 法規テキスト、問題集、トレイントレーニング、建築関係法令集(法令編)図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1-1 用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	1-2 確認申請・建築手続	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	1-3 面積・高さ等の算定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	1-4 一般構造	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	1-5 耐火・防火	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	1-6 防火地域・準防火地域	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	1-7 防火区画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	1-8 避難施設等	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	1-9 内装制限①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	1-9 内装制限②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	1-10 構造計算・構造強度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	1-11 敷地等と道路	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30%	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50%	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造力学 I A						学期	前 期	
担当教員	竹村 哲也	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（力学）の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の構造力学を学ぶ。特に力のつり合い、反力、応力（部材に生じる力）、トラス等。								
学習目標	二級建築士の構造の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	0	基礎数学テスト				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
2	1-1	力のつり合い				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	1-1-1	力				【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	1-1-2	モーメント							
3	1-1-3	力の合成と分解				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	1-1-4	力のつり合い				【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	1-1-5	構造物に働く力（過重）				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	1-2-1	構造物のモデル化				【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5		確認テスト①				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
6	1-2	反力				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	1-2-2	支点と反力				【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	1-2-3	構造物の種類							
7	1-2-4	反力の求め方				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	1-2-4-1	基本				【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	1-2-4-3	鉛直反力の公式				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
9		片持ち梁の反力 トラスの反力				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
10		静定ラーメンの反力				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
11		確認テスト②				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
12	1-3-1	応力の種類				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	1-3-2	応力の求め方 基本				【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	1-3-2	応力の求め方 応用				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
14	1-3-3	応力図				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
15		確認テスト③				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
					【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築一般構造 I A						学期	前 期
担当教員	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（建築一般構造）の範囲を学び、建築一般構造の基本を理解する。							
授業内容	二級建築士の建築一般構造を学ぶ。特に荷重・外力、構造計画、地盤・基礎、木造等。							
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。							
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布							
週数	授業計画				事前・事後の学習			
1	2-1 荷重・外力①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
2	2-1 荷重・外力②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
3	2-1 荷重・外力③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
4	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
5	2-2 構造計画①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
6	2-2 構造計画②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
7	2-2 構造計画③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
8	2-2-2 その他の構造計画 2-2-3 代表的な構造種別	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
9	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
10	2-3 地盤・基礎①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
11	2-3 地盤・基礎②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
12	2-4 木造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
13	2-4 木造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
14	2-4 木造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと					
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること					
	評価項目/割合	評 価 内 容						
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他								

科目名	建築材料 I A						学期	前 期	
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（建築材料）の範囲を学び、建築材料の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築材料を学ぶ。特に木材、木質系材料、鉄筋コンクリート、鋼材等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	2-4-1 木材①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	2-4-1 木材②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	2-4-2 木質系材料①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	2-4-2 木質系材料②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	2-5-1 鉄筋 2-5-2-1 セメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	2-5-2-2 骨材 2-5-2-3 各種強度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	2-5-2-4 ヤング係数（弾性係数） 2-5-2-5 その他の性質	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	2-5-2-6 ワークビリティ（施工軟度） 2-5-2-7 コンクリートの調合 2-5-2-8 混和剤	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	2-7-1 鋼材①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	2-7-1 鋼材②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	2-7-1 鋼材③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	2-7-1 鋼材④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築施工ⅠA						学期	前 期	
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築施工の範囲を学び、建築施工の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築施工を学ぶ。特に契約・計画・管理、各部工事等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 施工テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1-1 契約	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	1-2 施工計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	1-3 管理計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	2-1 仮設工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	2-2 地盤・土工事・基礎	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	2-3 鉄筋工事 2-4 型枠工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	2-5 コンクリート工事①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	2-5 コンクリート工事②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	2-6 鉄骨工事①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	2-6 鉄骨工事②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	2-7 コンクリートブロック工事 2-8 ALCパネル工事 2-9 押出成形セメント板工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	2-10 木工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図ⅠA						学期	前期	
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士設計製図の範囲を学び、基本的な作図ができるようになる。								
授業内容	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。								
学習目標	製図道具の使い方を理解し、使用することが出来るようになる。 一般図の種類と表現方法・内容が説明できる								
使用テキスト	令和6年度版 2級建築士試験 設計製図テキスト								
週数	授業計画								
1	製図を始める前に(製図道具の使い方、線の引き方)								
2									
3	木造軸組み工法について								
4									
5	木造の専用住宅、併用住宅について、二級建築士 設計製図試験の概要								
6									
7									
8									
9	木造住宅 配置図、各階平面図の描き方								
10									
11									
12	木造住宅 立面図の描き方								
13									
14	木造住宅 断面図の描き方								
15									
16	木造住宅 2階床伏図兼小屋伏図の描き方								
17									
18	木造住宅 矩計図の描き方								
19									
20	木造 軸組模型の作成①								
21									
22	木造 軸組模型の作成②								
23									
24	木造 軸組模型の作成③								
25									
26	木造 軸組模型の作成④								
27									
28	木造 軸組模型の作成⑤								
29									
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	Photoshop / illustrator I A							学期	前	期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	Photoshop及びIllustratorの基本操作と基礎知識の習得									
授業内容	前期はillustratorを中心授業を行う。illustratorを活用した課題制作									
学習目標	Photoshop及びIllustratorの役割を理解し、illustratorの基礎知識を理解、基本操作ができるようになること									
使用テキスト	空間練習帳(建築文化シナジー)、Illustrator & Photoshopデザインの作り方 アイデア図鑑									
週数	授業計画									
1	導入、・Photoshopとillustrator概要、基本操作									
2	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
3	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
4	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
5	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
6	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
7	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
8	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
9	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
10	Photoshopとillustrator概要、基本操作									
11	illustrator練習課題(ロゴデザイン トレース)									
12	illustrator練習課題(チラシデザイン トレース)									
13	Illustrator活用課題制作 1									
14	Illustrator活用課題制作 2									
15	Illustrator活用課題発表、講評、フィードバック									
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	課題の出来栄と発表内容で評価、学生らからも評価を募り評価に反映する。							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他	目標検定：建築CAD検定 2級合格授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。									

科目名	JWCAD I A							学期	前	期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	JWCADのコマンド操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得									
授業内容	基本操作演習と作図課題演習に取り組む									
学習目標	基本操作とCADソフトの概要把握、作図演習を通して図面作成の流れを掴む									
使用テキスト	建築CAD検定試験公式ガイドブック、建築CAD検定試験問題集									
週数	授業計画									
1	基本作図操作（線分・消去・矩形・中心線・複線）									
2										
3	基本作図操作（円・円弧・接円・接点・点）									
4										
5	基本作図操作（伸縮・コーナー・面取・分割）									
6										
7	基本作図操作（複写・移動・パラメトリック・多角形・測定）									
8										
9	基礎課題1（木造住宅） 図枠作成・レイヤ設定・配置図作成									
10										
11	基礎課題1（木造住宅） 配置図作成									
12										
13	基礎課題1（木造住宅） レイヤ設定・1階平面図作成									
14										
15	基礎課題1（木造住宅） 1階平面図作成・2階平面図作成									
16										
17	基礎課題1（木造住宅） 2階平面図作成									
18										
19	基礎課題1（木造住宅） 建築概要作成・印刷設定、小テスト									
20										
21	基礎課題2（鉄筋コンクリート造） 1階平面図作成									
22										
23	基礎課題2（鉄筋コンクリート造） 1階平面図作成									
24										
25	基礎課題2（鉄筋コンクリート造） 2階平面図作成									
26										
27	基礎課題2（鉄筋コンクリート造） 断面図作成									
28										
29	基礎課題2（鉄筋コンクリート造） 断面図作成・印刷設定、小テスト									
30										
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	課題の出来栄と発表内容で評価、学生からも評価を募り評価に反映する。							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	課題解決学習 IA							学期	前	期
担当教員	伏間崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	まちづくりを考える									
授業内容	実践を交えてより深く考えていく									
学習目標	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
2	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
3	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
4	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
5	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
6	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
7	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
8	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
9	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
10	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
11	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
12	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
13	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
14	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
15	射水市内空き家調査、ヒアリング、現場調査、まとめ									
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出							
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築図学 I A							学期	前 期
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	建築のパースを理解し作図出来る								
授業内容	設計途中においてもっとも重要となるイメージパースを理解し、クライアントの要望を「絵」として具体的に表現する方法を学ぶ。								
学習目標	建築パースの役割を意義を説明できる。1 消点（グリッド法）図法を使ってパースを描ける。2 消点（グリッド法）図法を使ってパースを描ける。図面を使って室内のフリーハンドイメージパースを描ける。内観パースに着色し、カラーパースとして完成させる。								
使用テキスト	だれでもできる超簡単建築パース								
週数	授業計画								
1	1 遠近法の話								
2	2-1 簡単パースの話								
3	2-3 簡単パースの話								
4	2-4 簡単パースの話								
5	2-5 簡単パースの話								
6	2-6 簡単パースの話								
7	2-7 簡単パースの話								
8	2-8 簡単パースの話								
9	2-9 簡単パースの話								
10	3-1 パースを彩る話								
11	3-2 パースを彩る話								
12	3-3 パースを彩る話								
13	3-4 パースを彩る話								
14	4-1 投影図の話								
15	4-2 投影図の話								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	3D CAD I A							学期	前	期
担当教員	熊谷 猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	3DCADを用いた3次元デザインの基礎の習得									
授業内容	Rhinceros(3DCAD)の基本操作の講義と実習									
学習目標	Rhincerosの基本操作の習得・3Dモデリングと図面作成・パラメトリックデザインの理解									
使用テキスト	「建築設計者のためのRhinceros」									
週数	授業計画									
1	<ul style="list-style-type: none"> ・3DCAD及びRhinceros概説 ・モデリング体験（イスAの作成） 									
2	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作の説明と実習 ・各種オブジェクトの作成 									
3	<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクトの編集 									
4	<ul style="list-style-type: none"> ・レイヤー操作とマテリアルの編集 ・グループとブロックの作成 									
5	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習①（イスBの作成） 									
6	<ul style="list-style-type: none"> ・図面化の概説 ・図面化実習① 									
7	<ul style="list-style-type: none"> ・テクスチャ作成の概説と実習 									
8	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習②（インテリアデザインA） 									
9	<ul style="list-style-type: none"> ・図面化実習② 									
10	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習③-1（建物A） 									
11	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習③-2（建物A） 									
12	<ul style="list-style-type: none"> ・図面化実習③ 									
13	<ul style="list-style-type: none"> ・パラメトリックデザインとビジュアルプログラミング及びGrasshopper概説 ・基本操作の説明と実習 									
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルプログラミング実習①（イスC） 									
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルプログラミング実習①（建物B） 									
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	測量士 I A							学期	前 期
担当教員	梶川 誠	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
授業内容	測量士補を学ぶ。								
学習目標	測量士補の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	測量、測量士補問題集2024年版、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	測量士補試験対策								
2									
3	測量士補試験対策								
4									
5	測量士補試験対策								
6									
7	測量士補試験対策								
8									
9	測量士補試験対策								
10									
11	測量士補試験対策								
12									
13	測量士補試験対策								
14									
15	測量士補試験対策								
16									
17	測量士補試験対策								
18									
19	測量士補試験対策								
20									
21	測量士補試験対策								
22									
23	測量士補試験対策								
24									
25	測量士補試験対策								
26									
27	測量士補試験対策								
28									
29	測量士補試験対策								
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
<p style="color: red;">課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。</p>									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	インターンシップ I A							学期	前 期
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	企業での体験実習を通して実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。								
授業内容	企業で通年で45時間以上の就業体験を行い、レポート提出と発表を行う。								
学習目標	就業体験を通して、業界理解を深め就職活動に役立てる。また実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる（毎週指定曜日）								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	インターンシップに参後レポート提出・発表、実習先評価						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	夏季休暇中を想定。								

科目名	建築計画ⅠB						学期	後 期	
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築計画の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築計画を学ぶ。特に計画原論(環境工学)、建築設備、計画各論(一部)。								
学習目標	二級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 計画テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	3-1 住宅建築	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	3-2 商業施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	3-3 文化施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	3-4 教育施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	3・5 医療・福祉施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	3-6 各部計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	3-6 各部計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	3-7 建築生産	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	3-8 都市計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	3-9 計画各論 用語 4 建築史	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	4 建築史	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規 I B						学期	後 期	
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築法規の範囲を学び、建築法規の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築法規を学ぶ。特に建築基準法等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 法規テキスト、問題集、トレイントレーニング、建築関係法令集(法令編)図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1-12 用途地域	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	1-13 建蔽率	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	1-14 容積率	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	1-15 高さ制限	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	1-16 日陰規制	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	1-17 雑則・その他の規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	2-1 建築士法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	2-2 バリアフリー法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	2-3 耐震改修促進法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	2-4 品確法・瑕疵担保履行法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	2-5 都市計画法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	2-6 その他の関係法令	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	評価項目/割合		評 価 内 容						
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造力学ⅠB						学期	後 期	
担当教員	竹村 哲也	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（力学）の範囲を学び、基本的な構造力学が理解出来るようになる。								
授業内容	二級建築士の構造力学を学ぶ。特に座屈、応力度等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	前期の復習	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	1-4 トラス	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	1-4-2-1 切断法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	1-4-2-2 図解法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	1-5-1 断面一次モーメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	1-5-2 断面二次モーメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	1-5-3～1-5-5 断面係数～剛度と剛比	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	1-6 座屈	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	1-7-1～1-7-3 応力度の種類～せん断応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	1-7-4 曲げ応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	1-7-5 許容応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	1-7-6、1-7-7 部材の変形、構造力学で用いる単位・用語	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築一般構造 I A						学期	後 期	
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（一般構造）の範囲を学び、一般構造の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の一般構造を学ぶ。特に鉄筋コンクリート造、壁構造、鉄骨造等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	2-5 鉄筋コンクリート造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	2-5 鉄筋コンクリート造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	2-5 鉄筋コンクリート造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	2-5 鉄筋コンクリート造④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	2-6 壁構造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	2-6 壁構造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	2-7 鉄骨造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	2-7 鉄骨造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	2-7 鉄骨造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	2-7 鉄骨造④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	2-8 その他の構造等①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	2-8 その他の構造等②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築材料 I A						学期	後 期	
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（建築材料）の範囲を学び、建築材料の基本を理解する。								
授業内容	一般建築士の建築材料を学ぶ。 特に塗装、ガラス、接着剤、左官材料、タイル、石材、断熱材、ボード類、シーリング材、屋根葺材等								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	3-1-1 塗装①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	3-1-1 塗装②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	3-1-2 ガラス①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	3-1-2 ガラス②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	3-1-3 接着剤①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	3-1-3 接着剤②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	3-1-4 左官材料 3-1-5 タイル	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	3-1-6 石材 3-1-7 断熱材	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	3-1-8 ボード類①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	3-1-8 ボード類②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	3-1-9 シーリング材 3-1-10 屋根葺材	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	3-1-11 その他	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築施工ⅠA						学期	後	期
担当教員	佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造（施工）の範囲を学び、建築施工の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築施工を学ぶ。特に各部工事等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 施工テキスト、問題集、トレイントレーニング図適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	2-11 防水工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	2-12 屋根工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	2-13 左官工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	2-14 タイル・石工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	2-15 塗装工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	2-16 建具・ガラス工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	2-17 内装工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	2-18 改修工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	2-19 設備工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	3-1 施工機械・器具	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	3-2 測量	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	3-3 積算・見積	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図 I A						学期	後	期
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士設計製図の範囲を学び、応用的な作図ができるようになる。								
授業内容	建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。								
学習目標	一般図の種類と表現方法・内容が説明できる。 製図の基本に則してRC造の配置図、平面図、断面図、立面図、部分詳細図を作図することができる。								
使用テキスト	令和6年度版 2級建築士試験 設計製図テキスト								
週数	授業計画								
1	RC造 配置図、各階平面図の描き方								
2									
3									
4									
5	RC造と木造の違い、二級建築士試験の概要(RC造)								
6									
7	RC造 立面図の描き方								
8									
9	RC造 断面図の描き方								
10									
11	RC造 部分詳細図の描き方								
12									
13	計画の要点等について、面積表その他に試験の解答用紙に記述すべき事項について								
14									
15	課題① 課題の読み取り、エスキス								
16									
17									
18									
19	課題① 作図・要点記述								
20									
21									
22									
23	課題② 課題の読み取り、エスキス								
24									
25									
26									
27	課題② 作図・要点記述								
28									
29									
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	Photoshop / illustrator I B							学期	後 期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	Photoshop及びIllustratorの基本操作と基礎知識の習得、Adobe認定プロフェッショナルに相当する知識・スキル習得								
授業内容	後期はPhotoshopを中心に、illustratorとPhotoshopを活用した課題制作								
学習目標	Photoshopの基礎知識を理解、基本操作ができるようになること、illustratorとPhotoshopの連携を理解する								
使用テキスト	空間練習帳(建築文化シナジー)、Illustrator & Photoshopデザインの作り方 アイデア図鑑								
週数	授業計画								
1	導入、・Photoshopとillustrator概要、基本操作								
2	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
3	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
4	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
5	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
6	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
7	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
8	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
9	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
10	Photoshopとillustrator概要、基本操作								
11	illustrator練習課題(ロゴデザイン トレース)								
12	illustrator練習課題(チラシデザイン トレース)								
13	Illustrator活用課題制作 1								
14	Illustrator活用課題制作 2								
15	Illustrator活用課題発表、講評、フィードバック								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	課題の出来栄と発表内容で評価、学生らからも評価を募り評価に反映する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	目標検定：建築CAD検定 2級合格授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	JWCAD I B							学期	後	期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	建築CAD検定2級相当の知識と作図スキルの習得									
授業内容	演習課題と実存建築物の作図演習									
学習目標	建築CAD検定2級相当の知識と作図スキルの習得									
使用テキスト	建築CAD検定試験公式ガイドブック、建築CAD検定試験問題集									
週数	授業計画									
1	建築CAD検定2級の概要説明									
2	演習課題1 作図準備									
3	演習課題1 作図準備・平面図作成									
4										
5	演習課題1 平面図・立面図作成									
6										
7	演習課題1 立面図・断面図、概要作成									
8										
9	演習課題2 作図準備・平面図作成									
10										
11	演習課題2 平面図・立面図作成									
12										
13	演習課題2 立面図・断面図作成									
14										
15	中間テスト、応用演習説明									
16										
17	応用演習1 実存建築物図面トレース									
18										
19	応用演習1 実存建築物図面トレース									
20										
21	応用演習1 実存建築物図面トレース、各自発表									
22										
23	応用演習2 実存建築物図面トレース									
24										
25	応用演習2 実存建築物図面トレース									
26										
27	応用演習2 実存建築物図面トレース									
28										
29	応用演習2 実存建築物図面トレース、各自発表									
30										
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	70 %	最終課題の出来栄と発表内容で評価、学生らからも評価を募り評価に反映する。							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	課題解決学習IB							学期	後	期
担当教員	伏間崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	まちづくりを考える									
授業内容	実践を交えてより深く考えていく									
学習目標	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	射水市内ヒアリング、プランニング、プレゼンテーション									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出							
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築図学 I B						学期	後 期	
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	建築の作図からパースを起こしプレゼンテーションができる								
授業内容	インテリアデザインの実技、製図、パース、模型、プレゼンテーション。								
学習目標	建築図学 I Aからより深くインテリアの焦点を当ててパース作図を中心にプレゼンテーションができるようになる。								
使用テキスト	だれでもできる超簡単建築パース								
週数	授業計画								
1	1 インテリアデザインの実技、製図の説明								
2	2-2 インテリア要素の製図（置き家具）								
3	2-2 インテリア要素の製図（造作家具）								
4	2-3 インテリア空間の製図（平面図）								
5	2-3 インテリア空間の製図（断面図）								
6	2-3 インテリア空間の製図（展開図）								
7	2-3 インテリア空間の製図（天井伏図）								
8	3-2 アイソメ、アクソメ復習								
9	3-3 一点透視図復習								
10	3-3 二点透視図復習								
11	4-2 インテリア模型のつくり方①								
12	4-2 インテリア模型のつくり方②								
13	4-2 インテリア模型のつくり方③								
14	プレゼンテーション①								
15	プレゼンテーション②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定*	理が授業								

科目名	3D CAD I A							学期	前	期
担当教員	熊谷 猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	3DCADを用いた3次元デザインの基礎の習得									
授業内容	Rhinceros(3DCAD)の基本操作の講義と実習									
学習目標	Rhincerosの基本操作の習得・3Dモデリングと図面作成・パラメトリックデザインの理解									
使用テキスト	「建築設計者のためのRhinceros」									
週数	授業計画									
1	<ul style="list-style-type: none"> ・3DCAD及びRhinceros概説 ・モデリング体験（イスAの作成） 									
2	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作の説明と実習 ・各種オブジェクトの作成 									
3	<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクトの編集 									
4	<ul style="list-style-type: none"> ・レイヤー操作とマテリアルの編集 ・グループとブロックの作成 									
5	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習①（イスBの作成） 									
6	<ul style="list-style-type: none"> ・図面化の概説 ・図面化実習① 									
7	<ul style="list-style-type: none"> ・テクスチャ作成の概説と実習 									
8	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習②（インテリアデザインA） 									
9	<ul style="list-style-type: none"> ・図面化実習② 									
10	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習③-1（建物A） 									
11	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリング実習③-2（建物A） 									
12	<ul style="list-style-type: none"> ・図面化実習③ 									
13	<ul style="list-style-type: none"> ・パラメトリックデザインとビジュアルプログラミング及びGrasshopper概説 ・基本操作の説明と実習 									
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルプログラミング実習①（イスC） 									
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルプログラミング実習①（建物B） 									
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	測量士 I B						学期	後 期	
担当教員	梶川 誠	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
授業内容	測量士補を学ぶ。								
学習目標	測量士補の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	測量、測量士補問題集2024年版、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	測量士補試験対策								
2									
3	測量士補試験対策								
4									
5	測量士補試験対策								
6									
7	測量士補試験対策								
8									
9	測量士補試験対策								
10									
11	測量士補試験対策								
12									
13	測量士補試験対策								
14									
15	測量士補試験対策								
16									
17	測量士補試験対策								
18									
19	測量士補試験対策								
20									
21	測量士補試験対策								
22									
23	測量士補試験対策								
24									
25	測量士補試験対策								
26									
27	測量士補試験対策								
28									
29	測量士補試験対策								
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定*	理外授業								

科目名	建築計画ⅡA						学期	前 期	
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築計画の範囲を学ぶ。								
授業内容	一級建築士建築計画の範囲を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅰ新体系テキスト(計画)、TAC 過去問題集(計画)、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1 建築士の職責・業務	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	2 建築物の環境共生	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	3 マネジメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	4-2 集合住宅	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	5 公共建築	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	5-8 公共建築の実例	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	4-3 劇場	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	7-2 面積算定・寸法設計の概要	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	確認テスト④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	10 積算 8 都市計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	9 建築史	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト⑤	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築環境工学ⅡA						学期	前 期	
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築環境工学の範囲を学び、環境設備の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の環境工学を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の環境工学の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト(環境設備)、TAC 過去問題集(環境設備)、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	室内環境	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	室内環境	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	換気	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	換気	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	伝熱・結露	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	伝熱・結露	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	日照・日射	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	日照・日射	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	採光・照明	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	採光・照明	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	色彩	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	色彩	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	音響	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	音響	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設備ⅡA						学期	前 期	
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築設備の範囲を学び、環境設備の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の設備を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の設備の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト(環境設備)、TAC 過去問題集(環境設備)、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	給排水衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	給排水衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	照明設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	照明設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	電気・輸送設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	電気・輸送設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】							
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30%	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50%	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規ⅡA						学期	前 期	
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築法規の範囲を学び、法規の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の法規を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の法規の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 学科過去問スーパード、総合資格学院「一級建築士試験 学科」ポイント整理と確認問題、総合資格学院「一級建築士試験 学科」厳選問題集500P125、建築関係法令集 法令編、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1-1 建築士法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	1-2 建設業法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	2-1 建築基準法 用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	2-1 建築基準法 用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	2-2 確認申請等の手続き規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	2-2 確認申請等の手続き規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	2-3 防火関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	2-3 防火関係規定②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	2-4 避難関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	2-4 避難関係規定②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	2-5 内装制限等①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	2-5 内装制限等②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】				【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造力学ⅡA						学期	前 期	
担当教員	竹村 哲也	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築構造（力学）の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の構造力学を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の構造の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅳ新体系テキスト(構造)、TAC 過去問題集(構造)、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	1-1 力のつり合い 1-2 安定・静定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	1-3 静定構造物の反力	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	2-1 応力 2-2 静定ばりの応力計算	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	2-3 静定ラーメンの応力計算	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	2-4 静定3ヒンジラーメンの応力計算	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	2-5 静定トラス	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	3-1 部材の性質	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	3-2 応力度と許容応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	3-3 部材の変形（たわみとたわみ角）	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	3-4 座屈 確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	4-1 不静定構造物の応力と変形	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	4-2 耐震の基本理念	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	確認テスト④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30%	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50%	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築施工ⅡA						学期	前 期	
担当教員	星屋 吉宏	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	一級建築士建築施工の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の施工を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の施工の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 学科過去問スーパー7、総合資格学院 1級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題、総合資格学院 1級建築士試験 学科 厳選問題集500+125、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	工事全体の流れ	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
2	施工計画・工程管理	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
3	材料管理、申請・届出	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
4	測量・地盤調査	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
5	仮設工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
6	土工事・山留め工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
7	基礎工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
8	鉄筋工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
9	型枠工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
10	コンクリート工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
11	鉄骨工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
12	防水工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
13	木工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
14	改修工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
15	請負契約	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テストにより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図ⅡA						学期	前期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士設計製図に対応できる力を身に着ける。								
授業内容	一級建築士設計製図の範囲を実践する。								
学習目標	一級建築士設計製図試験の傾向と対策を学ぶ。 課題の読み取り・エスキス・作図・要点記述を時間管理できるようになる								
使用テキスト	適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	1級建築士設計製図試験概要・時間管理等・作図練習								
2									
3	読み取り 作図トレーニング								
4									
5	エスキス① 作図トレーニング								
6									
7	エスキス② 作図トレーニング								
8									
9	エスキス③ 作図トレーニング								
10									
11	エスキス④ 作図トレーニング								
12									
13	要点記述① 作図トレーニング								
14									
15	要点記述② 作図トレーニング								
16									
17	要点記述③ 作図トレーニング								
18									
19	課題1 読み取り・エスキスプロセス								
20									
21	課題1 作図・要点記述								
22									
23	課題2 読み取り・エスキスプロセス								
24									
25	課題2 作図・要点記述								
26									
27	課題3 読み取り・エスキスプロセス								
28									
29	課題3 作図・要点記述								
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	課題解決学習ⅡA						学期	前期	
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	まちづくりを考える								
授業内容	実践を交えてより深く考えていく								
学習目標	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	空き家活用方法について考える。								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	専攻ゼミⅡA							学期	前 期
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	設計段階でインフィルとスケルトンを意識できるようになる。								
授業内容	エスキス、模型作成、図面作成、プレゼンテーション。								
学習目標	時代の変化に対応出来るようリフォーム、リノベーション設計を学び概要を説明できる。								
使用テキスト	※適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	ガイダンス、課題の説明（木造）、グループ決め 役割分担、コンセプト作成、エスキス制作								
2									
3	エスキス完成、模型製作開始 模型作成								
4									
5	模型作成								
6									
7	プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション、講評								
8									
9	ガイダンス、課題の説明（RC造） 課題分析、資料集め								
10									
11	エスキス（構造の確認、コンセプト設定） エスキス（ラフ図面）								
12									
13	エスキス（ラフ図面）、ラフ図面提出、コンセプトの教員確認 ラフ図面・コンセプトの修正								
14									
15	図面作成 タイトル・コンセプト 図面作成 平面図								
16									
17	図面作成 内観パース 構図検討 図面作成 内観パース① 下書き								
18									
19	図面作成 内観パース① ペン入れ 図面作成 内観パース① 着色								
20									
21	模型作成 部材枠取り 模型作成 部材切抜								
22									
23	模型作成 部材組合せ 模型作成 細部作成								
24									
25	模型作成 部分修正 模型作成 仕上げ								
26									
27	プレゼンテーション資料作成 課題発表シミュレーション								
28									
29	発表と講評								
30									
評価項目/割合		評価内容							
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	BIM II A							学期	前 期
担当教員	熊谷 猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	BIMの実務（基本設計）への活用技術の習得								
授業内容	Archicadを活用した基本設計の実習								
学習目標	Archicadを用いた基本設計図の作成								
使用テキスト	※適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計の説明 BIMを用いた基本設計フローの説明 建物C（小規模RC住宅）の説明 								
2									
3	<ul style="list-style-type: none"> 実習（環境設定，敷地及び周辺環境入力，通り心，ゾーン） 								
4									
5	<ul style="list-style-type: none"> 建物の各部位の構成の説明 実習（壁，床，屋根） 								
6									
7	<ul style="list-style-type: none"> 実習（窓，ドア，階段，造作材，設備機器，その他） 								
8									
9	<ul style="list-style-type: none"> 実習（図面化） ※配置図・平面図・立面図・断面図 まとめ 								
10									
11	<ul style="list-style-type: none"> 一覧表の説明 一覧表実習 								
12									
13	<ul style="list-style-type: none"> 建物D（小規模木造住宅）の説明 実習（環境設定，敷地及び周辺環境入力，通り心，ゾーン） 								
14									
15	<ul style="list-style-type: none"> 実習（壁，床，屋根） 								
16									
17	<ul style="list-style-type: none"> 実習（窓，ドア，階段，造作材，設備機器，その他） 								
18									
19	<ul style="list-style-type: none"> 実習（図面化） ※仕上表・配置図・平面図・立面図・断面図，設備機器表 まとめ 								
20									
21	<ul style="list-style-type: none"> 建物E（中規模鉄骨造オフィスビル）の説明 実習（環境設定，敷地及び周辺環境入力，通り心，ゾーン） 								
22									
23	<ul style="list-style-type: none"> 実習（壁，カーテンウォール，床，屋根） 								
24									
25	<ul style="list-style-type: none"> 実習（窓，ドア，階段，造作材，設備機器，その他） 								
26									
27	<ul style="list-style-type: none"> 実習（図面化） ※仕上表・配置図・平面図・立面図・断面図，設備機器表 								
28									
29	<ul style="list-style-type: none"> 実習（ビジュアライゼーション） まとめ 								
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	測量士ⅡA						学期	前期	
担当教員	梶川 誠	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
授業内容	測量士補を学ぶ。								
学習目標	測量士補の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	測量、測量士補問題集2024年版、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	測量士補試験対策								
2									
3	測量士補試験対策								
4									
5	測量士補試験対策								
6									
7	測量士補試験対策								
8									
9	測量士補試験対策								
10									
11	測量士補試験対策								
12									
13	測量士補試験対策								
14									
15	測量士補試験対策								
16									
17	測量士補試験対策								
18									
19	測量士補試験対策								
20									
21	測量士補試験対策								
22									
23	測量士補試験対策								
24									
25	測量士補試験対策								
26									
27	測量士補試験対策								
28									
29	測量士補試験対策								
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築士対策ⅡA(計画1級、2級)						学期	後	期
担当教員	小林 弘二、吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	各建築士建築計画の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	各建築士の建築計画を学ぶ。								
学習目標	各建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科テキスト、問題集、総合資格 二級建築士テキスト、問題集、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	各建築士の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築士対策ⅡA(環境設備1級)						学期	後	期
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	各建築士建築環境設備の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	各建築士の建築環境設備を学ぶ。								
学習目標	各建築士の建築環境設備の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科テキスト、問題集、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	各建築士の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築士対策ⅡA(法規1級、2級)							学期	後 期
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	一級2、二級1
学習目的	各建築士建築法規の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	各建築士の建築法規を学ぶ。								
学習目標	各建築士の建築法規の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科テキスト、問題集、総合資格 二級建築士テキスト、問題集、建築関係法令集 法令編、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	各建築士の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築士対策ⅡA(構造1級、2級)						学期	後 期	
担当教員	竹村 哲也、佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	一級2、二級1
学習目的	各建築士建築構造の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	各建築士の建築構造を学ぶ。								
学習目標	各建築士の建築構造の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科テキスト、問題集、総合資格 二級建築士テキスト、問題集、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	各建築士の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築士対策ⅡA(施工1級、2級)						学期	後	期
担当教員	星屋 吉宏、佐藤 博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	各建築士建築施工の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	各建築士の建築施工を学ぶ。								
学習目標	各建築士の建築施工の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科テキスト、問題集、総合資格 2級建築士テキスト、問題集、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	各建築士の試験対策								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	課題解決学習ⅡB						学期	後	期
担当教員	長田 静穂	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	まちづくりを考える								
授業内容	実践を交えてより深く考えていく								
学習目標	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	空き家活用方法について考える。								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	専攻ゼミⅡB(専攻ゼミ)							学期	後 期
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	前期の授業の学習内容を踏まえ、後期の授業では実際の木造住宅のリフォーム設計を行いリフォームについて学んでいく。								
授業内容	数多くの情報を収集し必要な情報のみを分析しオリジナルのプランニングにまとめる								
学習目標	プランニング・デザイン・コンセプトをプレゼンテーションできる								
使用テキスト	※適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	ガイダンス、課題の説明（木造）、グループ決め 役割分担、コンセプト作成、エスキス制作								
2									
3	エスキス完成、模型製作開始 模型作成								
4									
5	模型作成								
6									
7	プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション、講評								
8									
9	ガイダンス、課題の説明（RC造） 課題分析、資料集め								
10									
11	エスキス（構造の確認、コンセプト設定） エスキス（ラフ図面）								
12									
13	エスキス（ラフ図面）、ラフ図面提出、コンセプトの教員確認 ラフ図面・コンセプトの修正								
14									
15	図面作成 タイトル・コンセプト 図面作成 平面図								
16									
17	図面作成 内観パース 構図検討 図面作成 内観パース① 下書き								
18									
19	図面作成 内観パース① ペン入れ 図面作成 内観パース① 着色								
20									
21	模型作成 部材枠取り 模型作成 部材切抜								
22									
23	模型作成 部材組合せ 模型作成 細部作成								
24									
25	模型作成 部分修正 模型作成 仕上げ								
26									
27	プレゼンテーション資料作成 課題発表シミュレーション								
28									
29	発表と講評								
30									
評価項目/割合		評価内容							
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	BIM II B(卒業研究)						学期	後 期	
担当教員	熊谷 猛	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	BIMの実務（実施設計）への活用技術の習得								
授業内容	Archicadを活用した実施設計の実習								
学習目標	Archicadを用いた実施設計図の作成								
使用テキスト	※適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	・実施設計の説明 ・BIMを用いた実施設計フローの説明								
2	・建物C（小規模RC住宅）の確認 ※前期と同一データ ・仕上表作成								
3	・矩形図説明								
4	・実習（矩形図作成）								
5	・平面詳細図の説明								
6	・実習（平面詳細図作成）								
7	・3Dドキュメントの説明								
8	・実習（照明設備入力、天井伏図作成）								
9	・展開図ツールの説明								
10	・実習（展開図作成）								
11	・構造図説明								
12	・実習（構造図作成）								
13	・設備図説明								
14	・実習（設備図作成） ・まとめ								
15	・建物F（中規模RC造マンション）の説明								
16	・実習（環境設定、敷地及び周辺環境入力、通り心、ゾーン）								
17	・ホットリンク説明								
18	・実習（モデリング①）								
19	・実習（モデリング②）								
20									
21	・実習（モデリング③）								
22									
23	・実習（図面化①） ※基本図（仕上表・配置図・平面図・立面図・断面図）								
24									
25	・実習（図面化②） ※詳細図（矩形図、平面詳細図、天井伏図、構造図、設備図、設備機器表）								
26									
27	・実習（図面化③）								
28									
29	・実習（ビジュアライゼーション）								
30	・まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	測量士ⅡB							学期	後 期
担当教員	梶川 誠	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
授業内容	測量士補を学ぶ。								
学習目標	測量士補の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	測量、測量士補問題集2024年版、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	測量士補試験対策								
2									
3	測量士補試験対策								
4									
5	測量士補試験対策								
6									
7	測量士補試験対策								
8									
9	測量士補試験対策								
10									
11	測量士補試験対策								
12									
13	測量士補試験対策								
14									
15	測量士補試験対策								
16									
17	測量士補試験対策								
18									
19	測量士補試験対策								
20									
21	測量士補試験対策								
22									
23	測量士補試験対策								
24									
25	測量士補試験対策								
26									
27	測量士補試験対策								
28									
29	測量士補試験対策								
30									
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									